

領 収 書

令和 6 年 3 月 28 日

早川 貴光 議員

金額
(消費税込)

4,002円

第5回佐野市議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(令和6年2月8日開催)

佐野市議会報告会運営委員会委員長 横 井 帝 之



早川 貴光 様

取引年月日：2024年03月28日(木)

下記正に領収いたしました。

領収書番号：R-240327950468

合計金額 (税込) **13,103円**

ラクスル株式会社

10%対象 13,103円 (内消費税: 1,191円)

〒1410021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル1F

登録番号：T9010401089631

注文番号	商品	数量	金額	備考
240327950468-01	チラシ・フライヤー / A4 / 両面カラー / 光沢紙(コート) / 標準：90kg	5,000部	12,365円	出荷予定日: 2024年3月28日 12月定例会政務報告書

「*」は軽減税率対象であることを示します。

注文内容	商品合計: 12,365円
小計 (税抜)	12,365円
値引き	値引き: -453円
合計金額 (税込)	13,103円

お支払い方法: クレジットカード

お客さまへ (必ずご確認ください)

本書面についてご不明点などございましたらお問合せフォーム (<https://raksul.com/contact/>) からご連絡ください。

2023年12月1日開会

令和5年第12月定例会一般質問報告



12月8日10時から一般質問を行いました

今回の一般質問では、地域おこし協力隊の抱える課題と以前から取り組んでいるみかもクリーンセンターや葛生清掃センターのスプレー缶の適切な処理について改善されたのか確認しました。

上手いけばみんな嬉しい 地域おこし協力隊とは？

用語解説-地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年から3年です。

<総務省HPより引用>

まず、用語解説として簡単な説明を記載しました。さらに補足すると、総務省では経費を隊員1人あたり480万円を上限として財政措置を行っており、令和8年度までに10,000人とする目標を掲げています。財政措置が受けられることから、上手いけば市の事業の人員を経費をかけずに確保できるだけでなく、定住してもらえれば人口も増加にも繋がる事が期待されることから、佐野市だ

けではなく各自治体でも積極的に募集をかけています。（佐野市では12月現在4名活動中）

本当にうまくいっている？ 現状の問題点と解決策

さて話を聞く限りでは「全て」が上手く言った場合は、国も地方（地域住民含む）もそして地域おこし協力隊員全てにメリットがあるこの地域おこし協力隊の仕組みですが、一方で様々なトラブル事例などもあるようです。その点も踏まえ今回質問をしました。

答弁のポイントと指摘部分は以下の通りです。

質問と答弁のポイント

1. 定住率について

全国平均65% 佐野市61.5%

ただし、**定住には明確な基準がない。**
定住率の算出方法を明確にすべき。

2. 地域おこし協力隊と市の求める活動内容 が一致していない場合がある。改善するには共通理解を図ることが重要である。

その他にも短い任期で着実に成果を出すには、例えば地域住民のニーズを把握し、事前に合意形成した上で地域おこし協力隊を募るといった基本的な部分を大切にすることも重要だと指摘しました。問題はどの自治体でも起きており、NHKのクローズアップ現代※1でも取り上げられています。より良い事業となるよう、今後もその取組をチェックしていきます。

<裏面につづく>

NHKクローズアップ現代※1
記事についてはこちら



スプレー缶の処理を放置？ 早急に改善すべき

続いてスプレー缶の処理についての質問です。

この質問は、今回で3回目です。過去に、不適切な処理方法をしており、その改善を求め、さらには安全な処理方法をして下さいと要望したものです。これは、過去に札幌市で起きたスプレー缶による爆発事故などにより、環境省から「廃エアゾール製品等の排出時の事故防止について」の通知があり、佐野市でも自治体で穴開け処理をする事となりましたが、適切な処理が出来ておらず、改善されるまで質問を続けています。

質問と答弁のポイント

1. 未処理のスプレー缶の量（11月末現在）
みかもクリーンセンター 2.5コンテナ
葛生清掃センター 114コンテナ!?

※コンテナはICBM(立方メートル)

2. 当局の認識について
葛生清掃センターの114コンテナ分の未処理のスプレー缶については**非常に好ましくない状況であると認識**

3. 今後の改善策について
この問題を重く受け止め、人的・物的な部分と現場の声を総合的に考慮し、検討を進めると**再質問に対して市長が答弁**

令和3年度の一般質問でも問題点については指摘をし、「早急」に改善を約束してもらいました。しかしながら、現在に至るまで改善がされなかったのは非常に残念です。



2023/11/30 葛生清掃センターで保管する未処理スプレー缶

再質問の中でも触れましたが、本来であれば一年で改善できなければ予算に反映して解決を図るべきで、それをしなかったのは市の怠慢であると言わざるを得ません。再質問で市長が答弁するのはとても珍しい事ようです。しかし会議録を見ても担当部長との答弁が噛み合っていない部分を市長が「問題を重く受け止めている」と答弁内容を補足するためだったと理解できます。また答弁通りに現場の声を週末には聞きに行ったようでした。今後は次回の予算（案）に人的・物的部分の補充が反映されているか確認します。

白熱!!経済文教常任委員会は 大幅に審議時間が延長

早川たかみつが委員長を務める経済文教常任委員会では、12議案が午前9時2分～午後2時まで長時間にわたって行われ、全議案が可決されました。注目される議案について報告します。

議案第119号

佐野市文化会館リニューアル及び 文化施設運営事業設計施エ一括契約 について

この議案について執行部からは安全性の確保と快適性の向上を目的とした改修内容が説明されています。

主な質疑としては、老朽化や、快適性向上に関し質疑があり、安全性の確保を目的に外壁タイルの修復や電気・給排水設備の更新、快適性向上を目的とした楽屋レイアウトの変更や座席の更新や座席幅の拡大を行うとの答弁がありました。

他にも耐震診断の有無や、建物の耐用年数の確認、PFI※2導入可能性調査に関する質疑がありました。執行部はその根拠や結果について説明し、PFIについての具体的な調査は行っていないと答弁しました。**鈴木委員から継続審査の動議が出されましたが、否決。直後に鈴木委員は退席し、採決には加わず、原案の通り可決されました。**以上が12月定例会の報告となります。

